

3000 民営家賃		
品目	銘柄	単位
民営家賃	民営借家の家賃 延面積区分別、構造別	1か月
<p>価格選定</p> <p>(1) 調査世帯（各調査市町村内に設けた家賃調査地区に居住する全ての民営借家世帯）の家賃を選定する。</p> <p>(2) 調査価格を、延面積及び構造により、以下の4区分に分類する。</p> <p>木造小住宅 … 延面積 30 m²未満 かつ 木造 木造中住宅 … 延面積 30 m²以上 かつ 木造 非木造小住宅 … 延面積 30 m²未満 かつ 非木造 非木造中住宅 … 延面積 30 m²以上 かつ 非木造</p> <p>(3) 小売物価統計調査の家賃調査は、調査市町村別に家賃調査地区が3群に分けられ、毎月1群ずつ各群の民営借家世帯を調査するため、当月調査対象でない民営借家世帯は、直近の調査価格を用いる。</p> <p>(4) 転出により当月空き家となった民営借家世帯は、一定の期間は、直近の調査した家賃と延面積を当月分として代入する。</p>		
<p>指数算出方法</p> <p>① 世帯(b)別の家賃及び延面積(A)を用いて、区分(a)別の平均価格(3.3 m²当たり)を算出する。</p> $P_{t,a} = \frac{\sum_b p_{t,a,b}}{\sum_b A_{t,a,b}} \times 3.3 = \frac{\sum_{b_1 \in \text{当月調査群}} p_{t,a,b_1} + \sum_{b_2 \in \text{前月調査群}} p_{t,a,b_2} + \sum_{b_3 \in \text{前々月調査群}} p_{t,a,b_3}}{\sum_{b_1 \in \text{当月調査群}} A_{t,a,b_1} + \sum_{b_2 \in \text{前月調査群}} A_{t,a,b_2} + \sum_{b_3 \in \text{前々月調査群}} A_{t,a,b_3}} \times 3.3$ <p>② 基準時価格で除して、区分別の指数を算出する。</p> $I_{t,a} = \frac{P_{t,a}}{P_{0,a}} \times 100$ <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>t : 比較時、0 : 基準時 a : 区分 b : 世帯</p> </div> <p>③ 区分別の構成比(w)を用いて加重平均し、調査市町村別の品目別価格指数を算出する。</p> $I_t = \frac{\sum_a I_{t,a} w_{0,a}}{\sum_a w_{0,a}}$		
<p>価格指数の適用 調査市町村別</p>		